

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月7日

上場会社名 株式会社Cominix 上場取引所 東
 コード番号 3173 URL <https://www.cominix.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)柳川 重昌
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)林 祐介 (TEL)06(6765)8201
 定時株主総会開催予定日 2021年6月23日 配当支払開始予定日 2021年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	20,994	△10.0	72	△89.3	121	△80.9	295	△17.1
2020年3月期	23,318	△8.6	682	△39.7	634	△42.6	356	△47.2

(注) 包括利益 2021年3月期 323百万円 (6.8%) 2020年3月期 303百万円 (△46.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	42.97	—	5.2	0.7	0.3
2020年3月期	51.85	—	6.5	4.2	2.9

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	18,144	5,785	31.7	836.25
2020年3月期	15,489	5,555	35.6	803.56

(参考) 自己資本 2021年3月期 5,743百万円 2020年3月期 5,519百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	330	△268	631	2,729
2020年3月期	△11	△284	597	2,052

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	11.00	—	10.00	21.00	144	40.5	2.6
2021年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00	89	30.3	1.6
2022年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00		35.6	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,300	29.3	229	—	216	—	125	—	18.20
通期	25,400	21.0	610	738.1	573	372.1	347	17.6	50.52

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2021年3月期	6,868,840株	2020年3月期	6,868,840株
2021年3月期	335株	2020年3月期	335株
2021年3月期	6,868,505株	2020年3月期	6,868,505株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	16,012	△13.8	249	△46.6	389	△28.9	313	△2.1
2020年3月期	18,565	△7.2	466	△43.5	548	△41.1	320	△42.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	45.62	—
2020年3月期	46.60	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	14,043	4,824	34.4	702.43
2020年3月期	12,894	4,567	35.4	665.01

(参考) 自己資本 2021年3月期 4,824百万円 2020年3月期 4,567百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,730	20.8	243	137.8	174	105.6	25.33
通期	17,900	11.8	576	47.9	397	26.7	57.80

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2021年5月28日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の長期化に伴い、企業収益が急速に減少するなど極めて厳しい1年となりました。直近では、半導体や自動車業界での需要増加やワクチン接種の開始による経済活動の正常化に向けた動きが活性化しているものの、コロナ変異株の流行が拡大するなど予断を許さない状況にあり、先行きの景況感については不透明な状況となっております。

世界経済については、海外諸国でのロックダウン（都市封鎖）や移動禁止措置等の発令により、経済が大きく下振れする1年となりました。年度後半からは、中国をはじめとした欧米諸国による積極的な金融政策等により景気の持ち直し基調となっておりますが、日本同様先行きの景況感については不透明な状況となっております。

当社グループはこのような厳しい経営環境下において、既存事業については、いち早く顧客に応じたWEBミーティングを実施するなど、ウィズコロナのニューノーマルへ対応した営業スタイルの構築に努めました。成長戦略としては、3件のM&Aを実施しグループの持続的成長の取り組みを推進いたしました。また、新規事業として、事業環境変化への対応や新たな顧客層の獲得を目的に、2020年10月に切削工具専門通販サイト「さくさくEC」を立ち上げるなど、各種施策を実施いたしました。これらの事業基盤の強化・拡大施策に加え、テレワークの活用や各種固定費の削減等による経営のスリム化も推進しましたが、厳しい事業環境を背景に業績は低調に推移しました。

この結果、当連結会計年度の売上高は20,994,612千円（前連結会計年度比10.0%減）、営業利益は72,782千円（前連結会計年度比89.3%減）、経常利益は121,360千円（前連結会計年度比80.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は295,121千円（前連結会計年度比17.1%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①切削工具事業

切削工具事業につきましては、コロナ禍の事業環境に対応すべくWEB受注率アップを目的とした「Cominix On-Line」キャンペーンを実施いたしました。また、日本国際工作機械見本市(JIMTOF 2020 online)へ出展するなどWEB展示会を活用した新規顧客の開拓や企業価値の向上に取り組んでまいりましたが、上半期の市場環境低迷に伴う販売減を補完するに至らず、当該事業の売上高は13,316,582千円（前連結会計年度比9.9%減）、セグメント損失は154,214千円（前連結会計年度は347,389千円のセグメント利益）と減収減益となりました。

②耐摩工具事業

耐摩工具事業につきましては、コロナ禍において外出自粛やテレワークなど、人々のライフスタイルが大きく様変わりする中、アルコール飲料用の缶製品の生産需要が年度を通じて堅調に推移いたしました。その他、製袋・電池・破砕刃・タイヤスト等の分野へも積極的に展開した結果、当該事業の売上高は2,598,169千円（前連結会計年度比2.9%増）、セグメント利益は259,133千円（前連結会計年度比12.3%増）と増収増益となりました。

③海外事業

海外事業につきましては、上半期は新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴い営業活動が大きく制限され、大幅に業績が低迷いたしました。下半期以降は、当社の主要進出国である中国における需要回復とアメリカでの取引拡大等に伴い業績が回復いたしました。上半期の大幅な業績低迷を補完するには至らず、当該事業の売上高は3,907,935千円（前連結会計年度比19.2%減）、セグメント損失は107,681千円（前連結会計年度は28,458千円のセグメント利益）と減収減益となりました。

④光製品事業

光製品事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント関連をはじめとした一部案件の進捗・納品の遅延等が発生しましたが、光源関連の受注等がセグメント利益に寄与した結果、当該事業の売上高は1,171,925千円（前連結会計年度比0.2%減）、セグメント利益は77,296千円（前連結会計年度比1.5%増）と減収増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(総資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,553,880千円増加し、14,014,993千円となりました。これは主に、現金及び預金が809,365千円、たな卸資産が358,917千円、電子記録債権が276,348千円、受取手形及び売掛金が182,791千円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,101,015千円増加し、4,129,293千円となりました。これは主に、投資有価証券が602,617千円、のれんが179,478千円、土地が123,695千円、建物及び構築物（純額）が113,847千円増加したことなどによります。

うち、株式会社東新商会のM&Aによる影響額（増加）は、現金及び預金311,808千円、受取手形及び売掛金272,356千円、たな卸資産667,135千円、建物及び構築物（純額）20,385千円、土地20,271千円、のれん192,674千円であります。また、株式会社川野辺製作所のM&Aによる影響額（増加）は、現金及び預金472,024千円、受取手形及び売掛金67,377千円、たな卸資産50,054千円、建物及び構築物（純額）85,838千円、土地34,723千円、投資有価証券401,593千円であります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2,654,896千円増加し、18,144,286千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて909,332千円増加し、8,596,451千円となりました。これは主に、電子記録債務が1,992,729千円、1年内返済予定の長期借入金が352,655千円、短期借入金202,167千円、未払法人税等が172,101千円増加した一方で、支払手形及び買掛金が1,830,549円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,515,152千円増加し、3,762,180千円となりました。これは、長期借入金1,149,867千円増加したことなどによります。

うち、株式会社東新商会のM&Aによる影響額（増加）は、1年内返済予定の長期借入金21,336千円、長期借入金198,368千円であります。また、株式会社川野辺製作所のM&Aによる影響額（増加）は、短期借入金50,000千円、1年内返済予定の長期借入金128,834千円、未払法人税等141,716千円、長期借入金276,876千円であります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて2,424,484千円増加し、12,358,632千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて230,412千円増加し、5,785,654千円となりました。これは、利益剰余金が185,225千円（親会社株主に帰属する当期純利益による増加295,121千円、剰余金の配当による減少109,896千円）増加した一方で、為替換算調整勘定が39,373千円減少したことなどによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、2,729,784千円(前連結会計年度比33.0%増)となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、330,649千円(前連結会計年度は11,484千円の使用)となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益426,410千円、たな卸資産の減少額317,507千円、減価償却費130,703千円などであり、支出の主な内訳は、負ののれん発生益217,623千円、仕入債務の減少107,245千円、法人税等の支払額163,010千円などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、268,255千円(前連結会計年度は284,757千円の使用)となりました。

支出の主な内訳は、子会社株式の取得による支出589,883千円であり、収入の主な内訳は、有形固定資産の売却による収入229,595千円、保険積立金の解約による収入189,315千円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、631,946千円(前連結会計年度は597,598千円の獲得)となりました。

収入の主な内訳は、長期借入れによる収入1,770,000千円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出902,430千円、配当金の支払い109,637千円などであります。

(4) 今後の見通し

2022年3月期は、新型コロナウイルス感染症拡大など、先行き不透明なリスク要因を複数抱えながらも、緩やかに回復基調が続いていくと想定されます。また、テレワークの拡大による住宅ニーズの高まりや自宅内消費など新しい生活様式に対応した需要の拡大はプラス要因となり、5Gの本格的普及や世界経済の回復などが期待されております。

こういった事業環境の中、当社グループといたしましては、自律成長とM&Aを基軸に、2024年度をターゲットとする中期経営計画の達成に向け、邁進してまいります。また、全体のリスクマネジメント体制の強化と、重要性が高まるグループガバナンス向上を図るための内部統制システムの充実、取締役会の更なる機能強化に取り組み、継続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

以上の取り組みにより、翌連結会計年度(2022年3月期)の連結業績予想(通期)につきましては、売上高25,400,000千円(前年同期比21.0%増)、営業利益610,000千円(同738.1%増)、経常利益573,000千円(同372.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益347,000千円(同17.6%増)を見込んでおります。

なお、個別業績予想(通期)につきましては、売上高17,900,000千円(前年同期比11.8%増)、営業利益525,000千円(同110.6%増)、経常利益576,000千円(同47.9%減)、当期純利益397,000千円(同26.7%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準につきましては、国内の同業他社の動向及び、国内外の諸情勢を考慮の上、今後、適切に検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,183,318	2,992,684
受取手形及び売掛金	4,321,505	4,504,296
電子記録債権	530,958	807,307
たな卸資産	5,065,279	5,424,196
その他	400,432	334,425
貸倒引当金	△40,381	△47,917
流動資産合計	12,461,112	14,014,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	998,991	1,606,129
減価償却累計額	△654,018	△1,147,309
建物及び構築物(純額)	344,973	458,820
土地	959,104	1,082,800
その他	440,382	1,269,183
減価償却累計額	△303,392	△1,053,382
その他(純額)	136,990	215,801
有形固定資産合計	1,441,067	1,757,422
無形固定資産		
のれん	111,413	290,892
その他	234,476	191,036
無形固定資産合計	345,890	481,929
投資その他の資産		
投資有価証券	241,287	843,905
繰延税金資産	314,456	259,726
その他	700,182	823,196
貸倒引当金	△14,607	△36,886
投資その他の資産合計	1,241,319	1,889,942
固定資産合計	3,028,277	4,129,293
資産合計	15,489,390	18,144,286

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,512,546	2,681,996
電子記録債務	—	1,992,729
短期借入金	1,908,676	2,110,843
1年内返済予定の長期借入金	665,208	1,017,863
未払法人税等	48,925	221,027
賞与引当金	165,560	126,129
役員賞与引当金	7,700	7,486
その他	378,503	438,375
流動負債合計	7,687,119	8,596,451
固定負債		
長期借入金	1,661,491	2,811,358
繰延税金負債	14,906	102,675
役員退職慰労引当金	233,462	300,662
退職給付に係る負債	311,184	393,346
その他	25,984	154,138
固定負債合計	2,247,028	3,762,180
負債合計	9,934,148	12,358,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,198	350,198
資本剰余金	330,198	330,198
利益剰余金	4,845,931	5,031,156
自己株式	△219	△219
株主資本合計	5,526,108	5,711,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,887	64,791
為替換算調整勘定	7,035	△32,337
その他の包括利益累計額合計	△6,851	32,454
非支配株主持分	35,984	41,865
純資産合計	5,555,241	5,785,654
負債純資産合計	15,489,390	18,144,286

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	23,318,797	20,994,612
売上原価	18,401,076	16,709,334
売上総利益	4,917,721	4,285,277
販売費及び一般管理費	4,235,706	4,212,495
営業利益	682,014	72,782
営業外収益		
受取利息	2,325	2,311
受取配当金	6,276	5,696
仕入割引	27,609	22,602
補助金収入	11,519	88,137
保険解約返戻金	650	5,010
その他	19,851	31,314
営業外収益合計	68,231	155,073
営業外費用		
支払利息	30,675	35,025
売上割引	42,344	37,945
為替差損	23,903	16,879
売上債権売却損	12,523	8,992
その他	6,781	7,652
営業外費用合計	116,228	106,494
経常利益	634,017	121,360
特別利益		
投資有価証券売却益	—	4,784
負ののれん発生益	—	217,623
保険解約返戻金	—	82,640
特別利益合計	—	305,049
特別損失		
投資有価証券評価損	39,180	—
特別損失合計	39,180	—
税金等調整前当期純利益	594,837	426,410
法人税、住民税及び事業税	230,375	178,422
法人税等調整額	15,281	△40,051
法人税等合計	245,657	138,371
当期純利益	349,180	288,039
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△6,978	△7,082
親会社株主に帰属する当期純利益	356,158	295,121

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年 4 月 1 日 至 2020年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 2020年 4 月 1 日 至 2021年 3 月 31 日)
当期純利益	349,180	288,039
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,106	78,679
為替換算調整勘定	△9,679	△42,780
その他の包括利益合計	△45,786	35,898
包括利益	303,393	323,937
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	309,633	334,427
非支配株主に係る包括利益	△6,239	△10,489

(3) 連 結 株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	350,198	330,198	4,682,091	△219	5,362,268
当期変動額					
剰余金の配当			△192,318		△192,318
親会社株主に帰属する当期純利益			356,158		356,158
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	163,840	—	163,840
当期末残高	350,198	330,198	4,845,931	△219	5,526,108

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	22,219	17,454	39,673	42,224	5,444,166
当期変動額					
剰余金の配当					△192,318
親会社株主に帰属する当期純利益					356,158
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△36,106	△10,418	△46,525	△6,239	△52,764
当期変動額合計	△36,106	△10,418	△46,525	△6,239	111,075
当期末残高	△13,887	7,035	△6,851	35,984	5,555,241

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	350,198	330,198	4,845,931	△219	5,526,108
当期変動額					
剰余金の配当			△109,896		△109,896
親会社株主に帰属する当期純利益			295,121		295,121
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	185,225	—	185,225
当期末残高	350,198	330,198	5,031,156	△219	5,711,334

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△13,887	7,035	△6,851	35,984	5,555,241
当期変動額					
剰余金の配当					△109,896
親会社株主に帰属する当期純利益					295,121
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	78,679	△39,373	39,306	5,880	45,187
当期変動額合計	78,679	△39,373	39,306	5,880	230,412
当期末残高	64,791	△32,337	32,454	41,865	5,785,654

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	594,837	426,410
減価償却費	125,759	130,703
のれん償却額	—	28,232
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8,236	22,559
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△26,859	△41,415
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△38,980	△6,493
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	28,730	2,366
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	20,134	△16,117
受取利息及び受取配当金	△8,601	△8,008
支払利息	30,675	35,025
為替差損益 (△は益)	3,004	△8,209
有形固定資産除売却損益 (△は益)	1,553	1,510
保険解約返戻金	△650	△87,651
負ののれん発生益	—	△217,623
投資有価証券評価損益 (△は益)	39,180	—
売上債権の増減額 (△は増加)	644,494	4,130
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△73,922	317,507
仕入債務の増減額 (△は減少)	△851,697	△107,245
未払消費税等の増減額 (△は減少)	29,732	△17,414
その他	△78,803	66,265
小計	430,351	524,533
利息及び配当金の受取額	8,599	8,003
利息の支払額	△31,562	△38,877
法人税等の支払額	△418,872	△163,010
営業活動によるキャッシュ・フロー	△11,484	330,649
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△62,549	△17,957
有形固定資産の売却による収入	486	229,595
無形固定資産の取得による支出	△48,919	△19,775
投資有価証券の取得による支出	△15,317	△14,614
投資有価証券の売却による収入	—	17,740
定期預金の預入による支出	△6,061	△9,350
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△99,997	△589,883
保険積立金の積立による支出	△50,671	△49,632
保険積立金の解約による収入	2,379	189,315
その他	△4,106	△3,693
投資活動によるキャッシュ・フロー	△284,757	△268,255
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	192,505	△120,716
長期借入れによる収入	1,100,000	1,770,000
長期借入金の返済による支出	△501,201	△902,430
配当金の支払額	△191,997	△109,637
非支配株主への配当金の支払額	△1,708	△1,495
リース債務の返済による支出	—	△3,774
財務活動によるキャッシュ・フロー	597,598	631,946
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,062	△16,895
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	286,294	677,444
現金及び現金同等物の期首残高	1,766,046	2,052,340
現金及び現金同等物の期末残高	2,052,340	2,729,784

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社のセグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、部・本部・事業部を基礎とした取扱商品・サービス別に区分したセグメントから構成されており、「切削工具事業」、「耐摩工具事業」、「海外事業」及び「光製品事業」の4つの報告セグメントに区分されております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「切削工具事業」は、国内向けに切削工具、保持工具、測定機器、工作機械等を販売しております。

「耐摩工具事業」は、国内向けに製缶工具および破碎工具等を販売しております。

「海外事業」は、海外向けに切削工具、製缶工具、保持工具、測定機器、工作機械、鉱物資源等を販売しております。

「光製品事業」は、光ファイバー、光源装置、光学部品等の販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,785,433	2,525,879	4,833,793	1,173,691	23,318,797	—	23,318,797
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	12,816	—	12,816	△12,816	—
計	14,785,433	2,525,879	4,846,610	1,173,691	23,331,614	△12,816	23,318,797
セグメント利益	347,389	230,655	28,458	76,174	682,678	△664	682,014
セグメント資産	7,695,625	1,055,708	3,005,476	490,791	12,247,601	3,241,788	15,489,390
その他の項目							
減価償却費	24,578	1,447	10,726	1,622	38,374	87,385	125,759
のれん償却額	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	47,636	—	19,357	—	66,993	46,092	113,086

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△664千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(2) セグメント資産の調整額3,241,788千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社土地であります。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,316,582	2,598,169	3,907,935	1,171,925	20,994,612	—	20,994,612
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,546	—	14,181	—	23,727	△23,727	—
計	13,326,128	2,598,169	3,922,116	1,171,925	21,018,339	△23,727	20,994,612
セグメント利益 又は損失(△)	△154,214	259,133	△107,681	77,296	74,534	△1,752	72,782
セグメント資産	10,414,742	1,180,930	2,969,383	534,747	15,099,804	3,044,482	18,144,286
その他の項目							
減価償却費	34,234	796	11,931	1,154	48,116	82,587	130,703
のれん償却額	28,232	—	—	—	28,232	—	28,232
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	17,356	—	7,728	—	25,085	12,771	37,857

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,752千円は、セグメント間取引消去によるものであります。
- (2) セグメント資産の調整額3,044,482千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社土地であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

地域ごとの情報

(1) 売上高

（単位：千円）

日本	中国	アジア	その他	合計
18,540,624	2,046,342	1,746,413	985,417	23,318,797

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

地域ごとの情報

(1) 売上高

（単位：千円）

日本	中国	アジア	その他	合計
17,030,339	1,817,577	1,184,122	962,573	20,994,612

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】
 前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
 該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）
 該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】
 前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業	合計		
当期末残高	111,413	—	—	—	111,413	—	111,413

（注） のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業	合計		
当期末残高	290,892	—	—	—	290,892	—	290,892

（注） のれん償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

当連結会計年度において、株式会社川野辺製作所を連結の範囲に含めたことにより、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当連結会計年度において217,623千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	803円56銭	836円25銭
1株当たり当期純利益金額	51円85銭	42円97銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	5,555,241	5,785,654
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	35,984	41,865
(うち非支配株主持分(千円))	(35,984)	(41,865)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	5,519,257	5,743,788
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	6,868,505	6,868,505

3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	356,158	295,121
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	356,158	295,121
普通株式の期中平均株式数(株)	6,868,505	6,868,505

(重要な後発事象)

該当事項はありません。